

# 令和8年度 小麦生育状況 (令和8年産 No. 5)

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 水田利用研究室  
(生産基盤研究部：TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

## I 農業研究センター本部 (北上、調査日：5月8日)

日)

### 1 気象経過

4月第5半旬以降、気温及び日照時間は平年並みからやや高く推移した。降水量は5月第1半旬に平年を上回った。

### 2 生育概況

「ゆきちから」の生育ステージは、減数分裂期が4月26日、出穂期は5月4日となり、平年より2～3日程度早かった(表1)。

「ゆきちから」の生育量は、気温がやや高く推移したため、平年と比較して草丈は7.9cm長く、 $m^2$ 当たり茎数が平年比130%と多かったが、地上部乾物重は平年並みであった。(表2)。

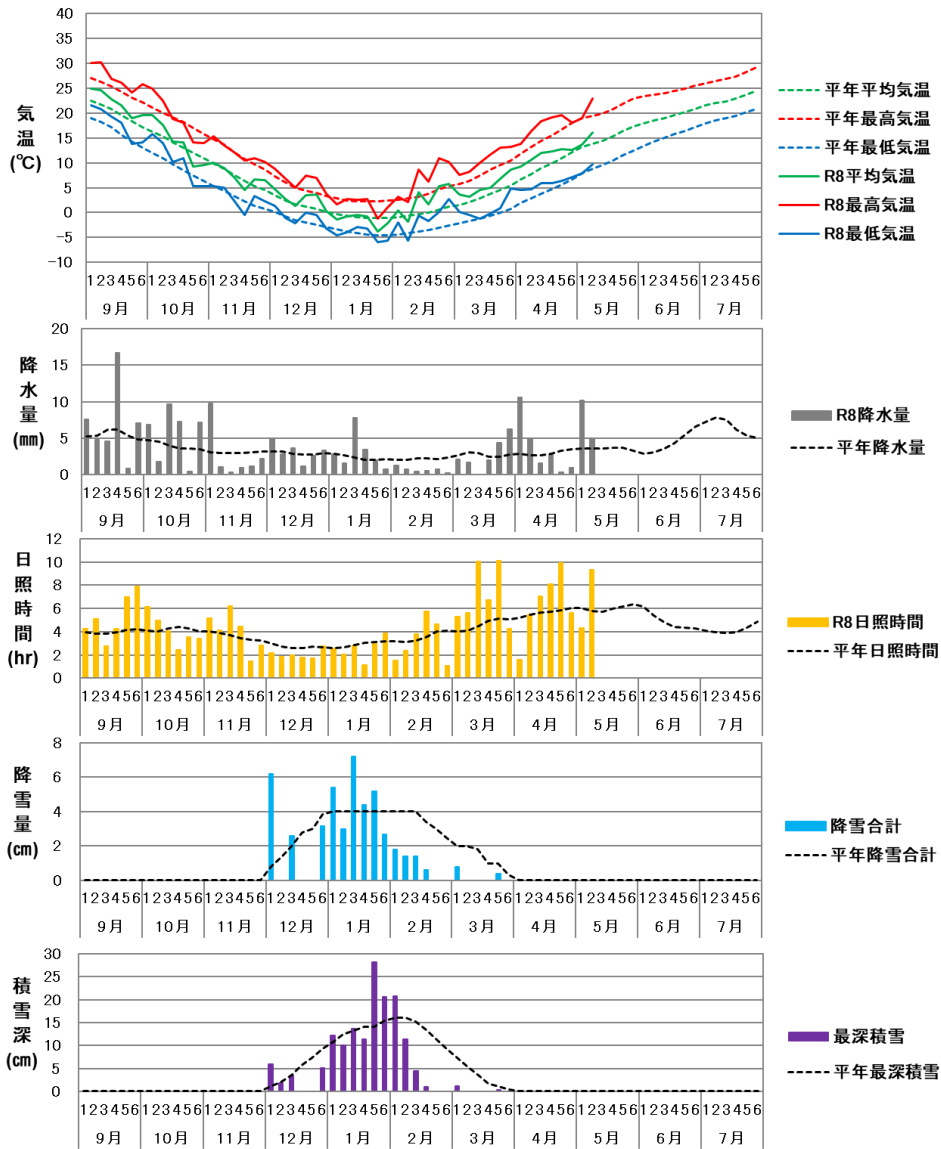


図1 令和7年播種小麦の生育期間中の半旬別気象経過図 (北上アメダス)

表1 生育ステージ

品種	播種年次	播種日 (月/日)	出芽期 (月/日)	幼穂形成期 (月/日)	減数分裂期 (月/日)	出穂期 (月/日)
ゆきちから	R7	10/6	10/12	3/24	4/26	5/4
	平年	10/5	10/12	4/3	4/28	5/7
	差・比	1	0	-10	-2	-3
ナンブコムギ	R7	10/6	10/12	3/25	4/28	5/6
	平年	10/5	10/12	4/3	4/28	5/7
	差・比	1	0	-9	0	-1
ナンブキラリ	R7	10/6	10/12	3/28	4/29	5/8
	過去2年平均	10/6	10/12	4/5	4/26	5/7
	差・比	-	-	-	-	-

※減数分裂期は、止葉の葉耳が抽出(±0 cm)の時期

※平年値は、令和2年～6年播種の5か年平均を用いた

表2 生育状況(令和8年5月8日調査)

品種	播種年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	地上部乾物重 (g/株)
ゆきちから	7年	82.4	548	6.14
	平年	74.5	420	6.41
	差・比	7.9	130%	96%
ナンブコムギ※	7年	80.2	335	4.88
	平年	82.2	349	7.75
	差・比	-2.0	96%	63%
ナンブキラリ	7年	85.4	505	9.14
	過去2年平均	78.7	428	7.66
	差・比	6.7	118%	119%

※平年値は令和2年～6年播種の5か年平均を用いた。

※ナンブコムギは縞萎縮病の影響を受けたため参考値とする。

表3 耕種概要

品種	ゆきちから	ナンブコムギ、ナンブキラリ
播種期	令和7年10月6日(標準播種期:10月5日)	
栽培様式	密条播(条間30cm)、転換1年目(前作水稲)	
播種量(kg/10a)	7.0(手播き)	6.0(手播き)
堆肥・緑肥(kg/10a)	牛糞堆肥1,000	
施肥量(kg/10a) 基肥	窒素:6.0 リン酸:8.5 カリ:8.5	
施肥量(kg/10a) 融雪期追肥	窒素:4.0(3月25日)	窒素:2.0(3月25日)
施肥量(kg/10a) 減分期追肥	—	窒素:2.0(4月30日)
雑草・病害虫防除		
雪腐病(種子消毒)	ベフラン液剤25:原液	
縞萎縮病(播種前)	フロンサイドSC:600mL※(10月3日)	
除草剤(播種後)	リベレーターフロアブル:80mL※(10月9日)	
雪腐病	フロンサイドSC:100mL※(11月27日)	
除草剤(越冬後)	ハーモニーDF:5g※(4月9日)	

※100Lの水で希釈し10aに散布



ゆきちからの様子 (5/8時点)



ナンブコムギの様子 (5/8時点)



ナンブキラリの様子 (5/8時点)